

グレースランドの09

全40口 ●1口75万円（総額3,000万円）

生産 白老ファーム 繋養 早来ファーム



41



41

ディープインパクト × グレースランド [メス]

ディープインパクト 鹿 2002	*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986	Halo	Hail to Reason
		Wishing Well	Cosmah
メス・鹿毛 2009年 4月8日	*ウインドインハーヘア Wind in Her Hair 鹿 1991	Alzao	Understanding
		Burghclere	Mountain Flower
グレースランド 栗 1998	*トニービン Tony Bin 鹿 1983	*カンバラ	Lyphard
		Severn Bridge	Lady Rebecca
	ゴールデンサッシュ 栗 1988	*ディクタス	Busted
		ダイナサッシュ	Highclere
			Kalamoun
			State Pension
			Hornbeam
			Priddy Fair
			Sanctus
			Doronic
			*ノーザンテースト
			*ロイヤルサッシュ(1)

ポイント

POINT

やや小ぶりの馬体ですが、両親の体格や血統構成を考慮すれば、その特徴そのままの姿と言えるでしょう。見た目どおり俊敏さが際立ち、放牧地での動きは「運動神経抜群のアスリート」の表現がピッタリで、その身体能力の高さは疑いようがありません。この時期の兄妹たちは大きめの身体を持って余っていた感がありましたが、本馬はすでにコンパクトでバランス良い身体を自由自在に操り回り、放牧時間を存分に楽しんでいます。今後の夜間放牧で、もうひと回り遅くなる姿を想像できるだけに、父のようにライバルたちを次々になぎ倒していく豪快なレースシーンの再現を、大いに期待しています。

母系

FAMILY

母の父 *トニービン Tony Bin は愛国産、全欧古牡馬チャンピオン、伊仏15勝、凱旋門賞-G1。本邦チャンピオンサイアー。【BMS:主な産駒】アドマイヤベガ(ダービー-JPN1)、ハーツクライ(ドバイ シーマ クラシック-G1)、キャプテントウレ(皐月賞-JPN1)、ヴィクトリー(皐月賞-JPN1)、アドマイヤドン(JBCクラシック-JPN1・3回)

母 グレースランドは3歳時、4戦入着。産駒
ドリームバースポート(牡 青鹿 フジキセキ)3勝、神戸新聞杯-JPN2、きざらぎ賞-JPN3、ジャパンC-G1 2着、皐月賞-JPN1 2着、菊花賞-JPN1 2着、阪神大賞典-G2 2着、京都2歳S-OP 2着、萩S-OP 2着、ダービー-JPN1 3着、スプリングS-JPN2 3着、有馬記念-JPN1 4着、京都記念-G2 4着、大阪杯-G2 4着、アメリカJCC-JPN2 5着
フィアリングトーン(牝 黒鹿 *ワイルドドラッシュ)1勝、**㊦**
セイクリッドセブン(牡 栗 フジキセキ)1勝、**㊦**

祖母 **ゴールデンサッシュ**は5戦、入着。産駒
ステイゴールド:JRA特別賞、5勝、日経新春杯-JPN2、日黒記念-JPN2、同3着、天皇賞(秋)-JPN1 2着(2回)、天皇賞(春)-JPN1 2着、同4着、宝塚記念-JPN1 2着、同3着、同4着、同-G1 4着、日経賞-JPN2 2着、同3着、同4着、アメリカJCC-JPN2 2着、ダイヤモンドS-JPN3 2着、有馬記念-JPN1 3着、金鯱賞-JPN2 3着、鳴尾記念-JPN2 3着、京都記念-JPN2 3着、ジャパンC-G1 4着、京都大賞典-JPN2 4着、京都新聞杯-JPN2 4着、UAE1勝、ドバイ シーマ クラシック-G2、香港ヴァーズ-G1。種牡馬

レクレードル:4勝、ローズS-JPN2、クイーンS-JPN3、同3着、札幌記念-JPN2 2着、阪神牝馬S-JPN2 3着、福島牝馬S-JPN3 3着、同5着、愛知杯-JPN3 4着、マーメイドS-JPN3 5着
キャッチザゴールド:4勝、淡路特別、和田岬特別
ホイッスル:不出走。産駒
 | **ピッチサイドトゥーク**3勝、マリーゴールド賞-OP 3着
メルヴェイユドール:1勝、**㊦**

曾祖母 **ダイナサッシュ**は9戦、入着。産駒
サッカーボーイ:最優秀2歳牡馬、最優秀スプリンター、6勝、マイルチャンピオンシップ-JPN1、阪神3歳S-JPN1。種牡馬